

神奈川県糖尿病対策推進プログラム

～かながわ糖尿病未病改善プログラム～

概要

神奈川県医師会・神奈川県糖尿病対策推進会議・神奈川県

1. 趣旨

県医師会、県糖尿病対策会議及び県はプログラムを協働で策定し、市町村等による県内の各医療機関と連携した糖尿病対策の取組みを促進し、事業の円滑な実施を図る。

2. 目的

幅広い糖尿病対策の取組みにより糖尿病リスク全体の改善を目的とする。

- ・ 市町村等の保険者及び医療機関が連携し、リスク保有者を把握し、受診勧奨等を行うことで、糖尿病性腎症及びその他の合併症を含め、広く糖尿病の重症化予防を図る。
- ・ 住民（被保険者）が自ら取組む「未病の改善」により、県民(住民)の糖尿病リスクの軽減を図る。

3. 関係者の役割

国プログラムに示された県や市町村、関係団体等の役割を基本に、広くプログラムの普及を目指す。

4-1. 糖尿病性腎症重症化予防

(1) 対象者

受診勧奨、保健指導対象者の抽出基準

(2) 未治療者、治療中断者への受診勧奨の進め方

受診勧奨の介入方法、かかりつけ医や専門医との連携(手順や方法)

(3) かかりつけ医や専門医と連携した保健指導の進め方

保健指導の介入方法、かかりつけ医や専門医との連携(手順や方法)

4-2. 糖尿病重症化予防

糖尿病全体への取組み及び網膜症、神経障害等の他の合併症への取組み

4-3. 総合的な糖尿病対策 「未病改善の取組み」

市町村は、広報や普及啓発により、住民が早くから糖尿病についての知識を得て、リスクを理解し、生活習慣の改善につながるよう働きかける。

「食・運動・社会参加」の未病改善の3つの柱を活かし、住民が自ら生活改善に取り組むことにより糖尿病対策の効果を向上させる。

5. 糖尿病にかかる地域医療機関連携の推進

市町村と郡市医師会等の地域の関係者が十分協議し、推進体制を構築する。糖尿病連携手帳等を活用し、市町村とかかりつけ医、医療機関相互等の情報共有を図る。

6. プログラムの評価

各事業の実施前に評価指標を設定し、事業実施後のアウトプット評価、アウトカム評価を確実にを行い、その効果を検証する。

6 プログラムの評価

(1) 市町村等による評価

- 「糖尿病性腎症重症化予防」及び「糖尿病重症化予防」について、本プログラムに基づく受診勧奨事業及び保健指導事業をデータヘルス計画における市町村の保健事業に位置付けるとともに、以下の項目について、事業実施前に評価指標を設定し、事業実施後のアウトプット評価、アウトカム評価を確実にを行い、その効果を検証する。

ア 受診勧奨の評価

- ① (アウトプット評価) ・抽出した対象者数及びそのうち受診勧奨を行った人数 (勧奨率)
- ② (アウトカム評価) ・受診勧奨を行った者のうち医療機関受診につながった人数 (受診率)

イ 保健指導の評価

- ① (アウトプット評価) ・抽出した対象者数及びそのうち保健指導を行った人数 (指導率・終了率)
- ② (アウトカム評価) ・保健指導実施 (終了) 者の改善状況 (データ変化)
検査数値：血糖(HbA1c)、血圧、脂質、体重、腎機能(尿たん白、eGFR)等
生活習慣：喫煙、飲酒、食事、運動、医療機関受診状況等

ウ マクロの評価

- ① (アウトプット評価) ・本プログラムに基づく事業実施数、事業対象者総数
- ② (アウトカム評価) ・被保険者一人当たり医療費(糖尿病性腎症、糖尿病)(外来、入院別)
・新規透析導入率(人口10万対)(糖尿病性腎症を原因とする者)

(2) 県による評価

- 各市町村で実施したプログラムの内容を把握し、「糖尿病性腎症重症化予防」及び「糖尿病重症化予防」について、市町村のデータヘルス計画の進捗を確認する等、事業効果を必要に応じて確認し、事業間の比較等を行うと共に、マクロ評価を行い、総合的な効果検証を行い、効果的な事業実施に向けて市町村を支援する。

また、市町村で実施した「総合的な糖尿病対策」について取組み状況を把握し、上記プログラム実施状況とともに、市町村に情報提供(フィードバック等)を行う。

【留意事項】

- ・ 医療費や透析導入率は、マクロの評価として、経年の変化や増加率等を把握し、他市町村や県平均との比較を行うことは重要であるが、高齢化の影響等、その他の要因で変動する要素が大きいことに留意して取り扱うことが必要。